



ミニディスクロージャー誌

平成29年3月期
営業の中間ご報告

京葉銀行のコミュニケーションシンボル



「**α**」の文字が描く重なりと上方へ伸びてゆくラインは、
人と人との“きずな”と、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。

コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、

“人とのきずなを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”

“常に皆さまにプラスアルファを提供し続ける銀行でありたい”

そんな京葉銀行の思いをあらわしています。



LINE@ 京葉銀行 公式アカウント

@keiyobank ぜひお友だち登録してくださいね!
楽しいコンテンツやLINE限定の特典も!

LINEアプリで公式アカウントを検索

京葉銀行

またはLINEアプリの
QRコードリーダーで!



京葉銀行

本店 〒260-0015 千葉市中央区富士見1-11-11
千葉みなと本部 〒260-0026 千葉市中央区千葉港5-45
TEL. 043(306)2121
<http://www.keiyobank.co.jp>



京葉銀行

確かな“きずな”を、未来へ。



取締役会長 小島信夫

取締役頭取 熊谷俊行

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、「ミニディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご案内申し上げます。ご高覧のうえ当行に対するご理解を深めていただければ幸いです。

平成28年度上期のわが国経済は、新興国経済の減速の影響などから輸出・生産面を中心に鈍さがみられたものの、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費は、底堅く推移し、緩やかな回復基調が続きました。一方で、日本銀行のマイナス金利政策の導入により、市場金利はかつてない低い水準で推移し、金融機関にとっては厳しい状況が続いております。

こうした中、当行が現在取り組んでいる第17次中期経営計画「α ACTION PLAN 2018」は、少子高齢化やフィンテックの進展など、経営環境の大きな変化に対応しつつ、地域社会とともに成長、発展を遂げていくための行動を定めたものです。計画期間の折り返し点を経過しましたが、引き続き経営課題にしっかりと取り組み、地域活性化への主導的役割を果たしてまいります。

具体的には、法人部門では、事業内容や成長可能性等を適切に把握した事業性評価に基づく資金供給に努めていくほか、事業承継や次世代経営者の育成等、地域企業の課題解決に向けたサポート体制を強化してまいります。

個人部門では、住宅の購入や資産形成、相続など、ライフステージに応じたお客さま目線のコンサルティングを一層充実させるとともに、ITを戦略的に活用し、対面、非対面問わず、安全で利便性の高い金融サービスを提供できるよう、態勢を整備してまいります。

これからも、役職員一同さらなる努力を重ねてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成28年11月

当行のプロフィール

名称 / 株式会社京葉銀行
 英文名称 / The Keiyo Bank, Ltd.
 設立 / 昭和18年3月31日
 資本金 / 497億円
 本店 / 千葉市中央区富士見1丁目11番11号
 拠点数 / 276カ所 本支店:117 出張所:2 店舗外ATMコーナー:157
 従業員 / 2,180名
 総資産 / 4兆6,189億円
 預金 / 4兆2,388億円
 貸出金 / 3兆1,696億円
 自己資本比率(国内基準) / 単体 11.52% 連結 11.55%
 格付 / A-(S&Pグローバル・レーティング)
 A+(株式会社日本格付研究所)
 (平成28年9月30日現在)

目次

平成28年9月期 業績のご報告(単体)	3
コンサルティング	7
IT・フィンテック	9
地方創生	11
地域貢献・社会貢献	13
株主の皆さまへ	15
財務諸表(単体)	16
株式情報・役員	17
店舗地図	18

第17次中期経営計画 期間 3年間(平成27年度～平成29年度)

α ACTION PLAN 2018 ～持続的成長へ向けた「変革と実行」～

目指す
銀行像

お客さまに信頼と利便性、
高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行

3つの
経営課題

- 1 地域活性化への積極的な貢献
- 2 未来を見据えた経営基盤の構築
- 3 経営管理態勢の高度化

計数目標

平成30年3月期

当期純利益	自己資本比率	OHR	預金残高	貸出金残高
140億円	12%程度	65%程度	4.4兆円程度	3.4兆円程度

※当期純利益、OHRについては平成28年5月11日に目標の見直しを行っています。

平成28年9月期 業績のご報告(単体)

平成28年9月期の業績につきましては、預金および貸出金の残高は順調に増加しました。

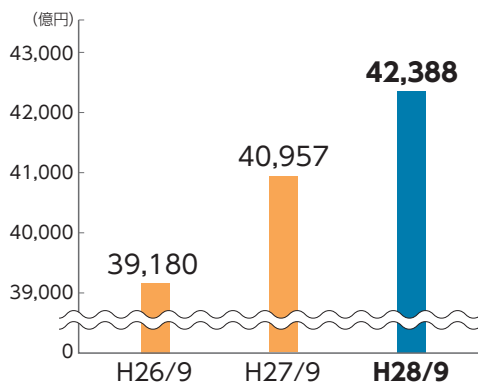
また、収益面では、経常利益は101億74百万円、中間純利益は66億99百万円となりました。

■預金残高

4兆2,388億円

(年間増加率3.4%)

給与振込や年金振込の取引拡大による個人預金の増加のほか、法人預金も残高を伸ばしており、前年同期比1,430億円増加し、4兆2,388億円(年間増加率3.4%)となりました。

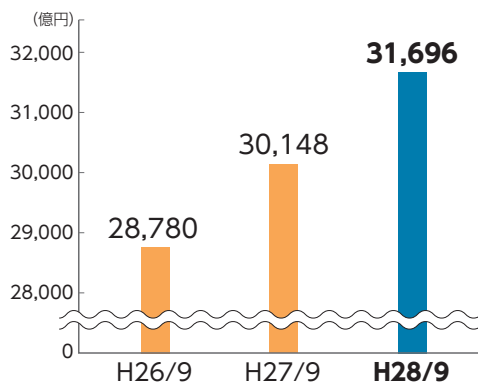


■貸出金残高

3兆1,696億円

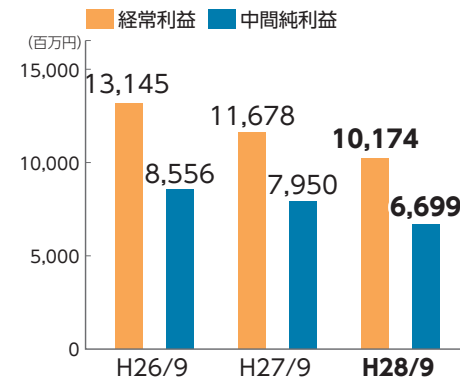
(年間増加率5.1%)

住宅ローンを中心とする個人向けや、中小企業向けの貸出推進に積極的に取り組んだ結果、前年同期比1,547億円増加し、3兆1,696億円(年間増加率5.1%)となりました。



■経常利益・中間純利益

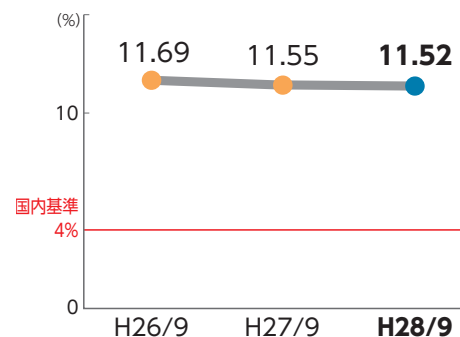
経常利益は前年同期比15億4百万円減少し、101億74百万円、中間純利益は前年同期比12億50百万円減少し、66億99百万円となりました。



■自己資本比率

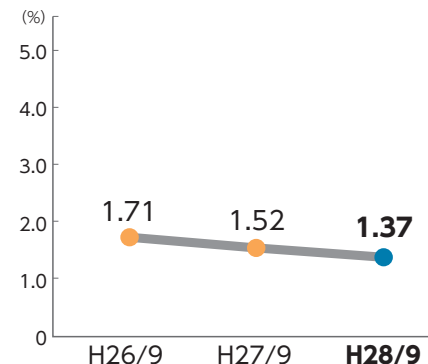
自己資本比率は、前年同期比0.03ポイント低下し、11.52%となりました。

なお、平成28年5月に自己株式300万株(12億69百万円)を取得しております。



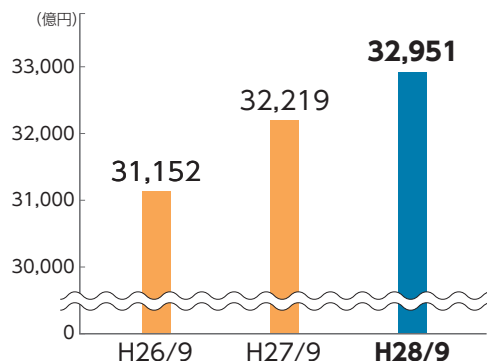
■不良債権比率(金融再生法基準)

お客様の経営課題に対して経営改善支援等のコンサルティング機能の発揮に努めた結果、金融再生法基準の不良債権比率は前年同期比0.14ポイント低下し、1.37%となりました。



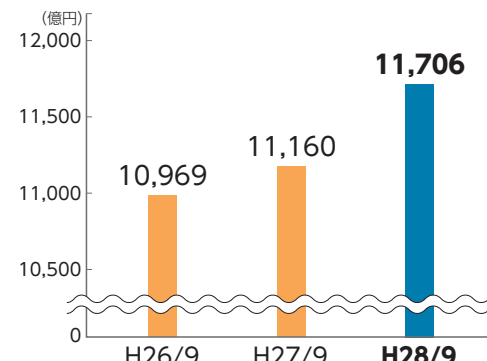
■個人預金残高

年金受取指定先数および給与振込指定先数が順調に増加したこと等により、個人預金残高は前年同期比732億円増加し、3兆2,951億円（年間増加率2.2%）となりました。



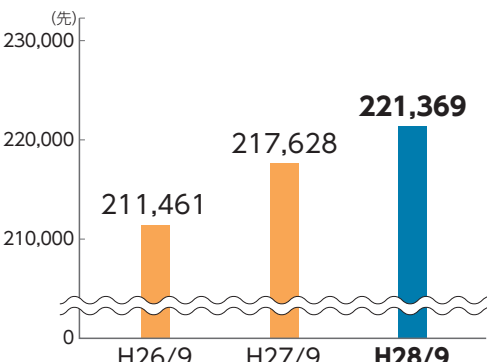
■中小企業向け貸出金残高

成長分野を中心に中小企業のお客さまへの貸出に積極的に取り組んだ結果、中小企業向け貸出金残高は前年同期比545億円増加し、1兆1,706億円（年間増加率4.8%）となりました。



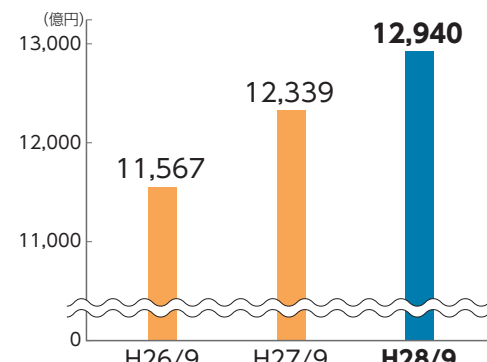
■年金受取指定先数

社会保険労務士による個別年金相談会や年金セミナーを開催し、複雑な年金制度の説明や年金請求書作成等のサービスなどが、ご好評いただいています。年金受取指定先数は年間で3,741先増加（年間増加率1.7%）しました。



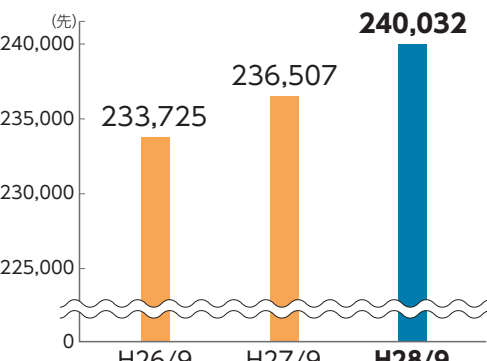
■住宅ローン残高

お客さまの住宅資金ニーズに積極的に対応した結果、住宅ローン残高は前年同期比601億円増加し、1兆2,940億円（年間増加率4.8%）となりました。



■給与振込指定先数

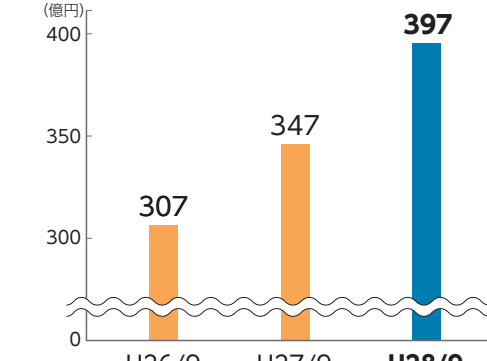
住宅ローン等をご利用のお客さまを中心に給与振込のご指定をいただいています。また、若年層の方々に向けた、給与振込のキャンペーンも実施しています。給与振込指定先数は年間で3,525先増加（年間増加率1.4%）しました。



■その他ローン(※)残高

お客さまのニーズに応じた幅広い商品ラインナップを取り揃えたほか、お申込みチャネルの利便性を高めた結果、その他ローン残高は前年同期比50億円増加し、397億円（年間増加率14.5%）となりました。

※住宅ローン除く消費者ローン



コンサルティング

当行は、お客さまの幅広いニーズや課題に対して、より付加価値の高いソリューションを提供するために、コンサルティング体制の充実に努めています。

アルファバンクの後継者塾

後継者の育成を通じて地元企業の円滑な事業承継をサポートし、10年後、20年後の成長に貢献するため、平成28年10月より「アルファバンクの後継者塾」をスタートさせました。



塾の目的

- 1 経営者の自覚・リーダーシップを身に付ける
- 2 実行力や実践力を磨く
- 3 生涯相談し合える「友」をつくる

3つの特徴

- 1 「理論」と「実践」で実務に必要な知識・ノウハウを学ぶ
- 2 主体的に「考え」「手を動かし」「対話する」グループディスカッションとケーススタディ分析
- 3 塾生同志のコミュニケーションを重視したネットワークづくり



相続相談窓口

“もっと気軽に相続の話ができる環境が欲しい”という声にお応えし、相続に関する悩みや心配事を何でも相談できる「よろず相談窓口」を設置しています。
(設置店舗は、一定期間ごとに移動します)

年金相談会

年金制度の概要や請求手続きなど、様々な相談に個別に対応するために、営業店や商業施設などで年金相談会を開催しています。

ミニセミナー

「資産運用」「医療・がん」「NISA」「相続・遺言」などをテーマに、営業店でミニセミナーを多数開催し、最新の情報をお客さまへ提供しています。



台湾進出セミナー

お客さまの海外進出や販路拡大に向けたサポートの一環として、平成28年9月に「台湾進出・最新事情セミナー」を開催しました。

TOPICS

新たな営業拠点(品川法人営業所)

平成28年10月に、当行2拠点目となる法人営業所を新設しました。千葉県内から東京東部、湾岸エリアを網羅的かつ安定的にカバーすることで都内企業の千葉県への進出、県内企業の東京進出などを全面的にサポートします。



IT・フィンテック

フィンテックの進展など時代の変化を捉えたビジネスモデルを構築するため、ITを戦略的に活用することで、“いつでも、どこでも”お客様のニーズに最適なサービスの提供に努めています。

印鑑レス・通帳レス・ペーパーレス

利便性を重視したお客さまとの取引拡充を目指し、印鑑レスや通帳レス、ペーパーレスの実現を目指しております。

この3つのコンセプトに基づき、来年4月にインターネット支店を開設する予定です。



県内金融機関初! 「指静脈認証ICキャッシュカード」で貸金庫入室が可能に!

ITを活用した最適なサービス提供の一環として、1枚のカードでATMと「指静脈認証システム全自動貸金庫」の両方を利用できるようにしました。

平成28年10月に移転した茂原支店より開始し、利用可能な店舗を拡大してまいります。



CRMタブレット端末の導入

訪問先でも店頭と同じように、お客さまのニーズに応じたタイムリーな情報提供やコンサルティングを行うため、渉外担当者全員にタブレット端末を配備しています。



インターネットバンキングの機能拡充

多くのお客さまが、より便利にご利用いただけるよう、インターネットバンキングの機能拡充に努めています。

保有されている投資信託の運用利回りが、ご指定の値に到達した際にEメールでお知らせする「運用利回り到達通知メール」サービスを平成28年8月に開始しました。

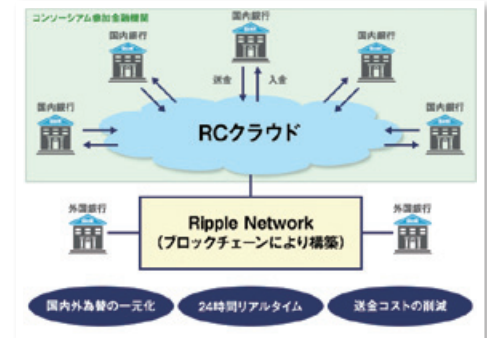


TOPICS

コンソーシアムへの参加

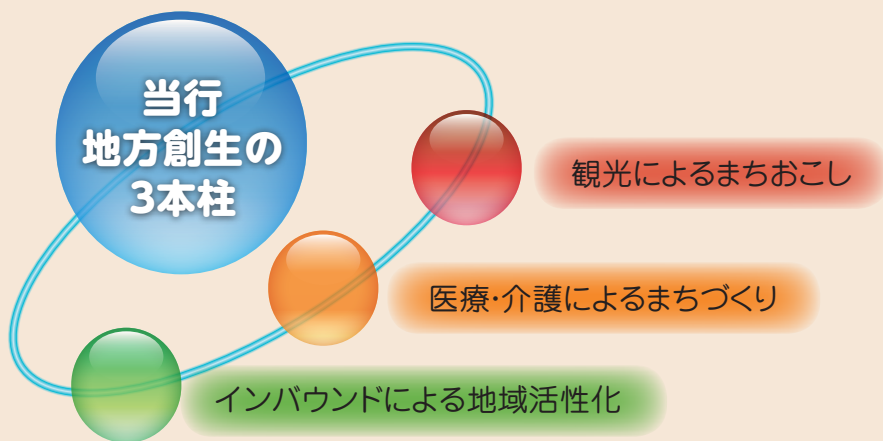
当行はSBIホールディングス及びSBI Ripple Asia株式会社が事務局を務める「国内外為替の一元化検討に関するコンソーシアム」に発足メンバーとして参加しました。

このコンソーシアムでは、ブロックチェーンを始めとした技術を取り入れ、国内外の為替を一元化し24時間即時送金ができるインフラの構築を目指しています。



地方創生

「観光によるまちおこし」「医療・介護によるまちづくり」「インバウンドによる地域活性化」を3大テーマとして、市町村、事業者と協働して取り組んでいるほか、地方創生に貢献するさまざまな取り組みを進めています。



観光によるまちおこし

地域経済活性化支援機構（REVIC）や佐原信用金庫等との連携により設立した「千葉・江戸優り佐原観光活性化ファンド」を活用し、千葉県香取市を中心に観光産業の活性化による「観光まちづくりモデル」の構築を目指しています。

現在進行中の事業概要

- 観光施設の整備
- 香取市内に点在する古民家の利活用



医療・介護によるまちづくり

浦安市、浦安中央病院、ミサワホームと病院移転計画に関する4者協定を締結し、浦安市が目指す「地域包括ケアシステム」の構築に向けた支援を行っています。



インバウンドによる地域活性化

外国人観光客の誘致や海外進出企業に対するサポート体制の充実を目的に、官民ファンドである「株式会社海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）」への出資を行いました。当行と千葉県、同機構との連携を強化し、投資案件の発掘により地域経済の活性化に貢献していきます。

TOPICS

海外発行カード対応ATM

千葉県を訪れる外国人観光客の利便性向上による観光の活性化を目的に、海外で発行されたキャッシュカードやクレジットカードに対応したATMを平成28年12月から導入する予定です。

ご利用可能な取引

海外の金融機関で発行されたキャッシュカードやクレジットカードによる、日本円の引き出し等

画面表示言語

日本語、英語、中国語



地域貢献・社会貢献

当行は、地域のお客さまから信頼され、地域社会の発展に貢献するため、さまざまな「地域貢献・社会貢献活動」を展開しております。



子ども参観日「αバンク体験ツアー2016」の開催

小学生を対象に銀行業務の職場体験をしていただく、「αバンク体験ツアー」を開催しています。平成28年8月は、1月にリニューアルした本店営業部で開催し、銀行の仕事への理解を深めていただきました。

千葉みなと本部を見学地として提供

平成28年11月に、千葉市の雇用就業事業の推進活動に賛同し、市が実施する「企業見学バスツアー」に千葉みなと本部を見学地として提供しました。

産学連携情報誌「Mira-Kuru(ミラクル)」の発行

千葉大学で取り組んでいる研究を「農業」「環境」「健康」「福祉」の4つのテーマに分けてご紹介しています。産学連携の橋渡し役として、千葉大学とお取引先との共同研究につながる案件の発掘や、ビジネスマッチングに取り組んでいます。



「ちばアクアラインマラソン2016」へのボランティア協力

平成28年10月に、スポーツの振興と千葉県の魅力発信を目的に「ちばアクアラインマラソン2016」が開催されました。地元企業として本大会に協賛するとともに職員がボランティアとして給水所の運営に協力しました。

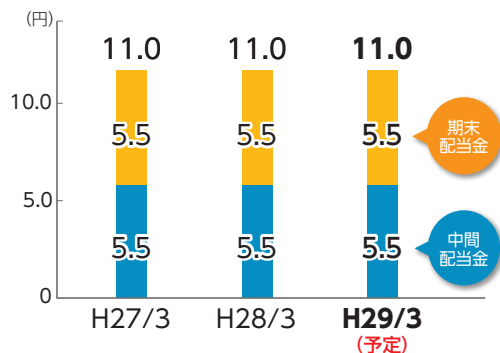
TOPICS

金融犯罪防止への取り組み

平成28年10月の「振り込め詐欺等撲滅強化推進期間」に、地元3行及び千葉県、千葉県警と協同で作成した「特殊詐欺防止啓発ミニチラシ」をロビー等で配布し、注意喚起を行いました。

■ 年間配当金(1株当たり)

1株当たりの中間配当金は、当初計画通り、5円50銭としました。なお、平成29年3月期の期末配当金は5円50銭(年間配当金11円)を予定しています。



■ 株主優待制度

日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主優待制度をご用意しております。

優待1
ギフトカードの贈呈

●3月31日において1年以上継続して
1,000株以上保有されている株主さまご本人

株主さまの保有株数に応じて年1回プレゼント!

- 1,000株以上 5,000株未満 ……1,000円相当
- 5,000株以上 10,000株未満 ……3,000円相当
- 10,000株以上 ……5,000円相当

優待2
株主優待定期預金

●1,000株以上保有されている株主さまご本人
●お取扱期間は年2回

スーパー定期
店頭表示金利 **+年0.2%**

- 1,000株以上 10,000株未満 ……100万円まで
- 10,000株以上 ……200万円まで

満期日前にご解約された場合、当行所定の中途解約利率が適用されます。

※くわしくはお近くの営業店、もしくは京葉銀行総務グループへお問い合わせください。

☎0120-367-300 受付時間：月～金 9:00～17:00(祝日および12月31日～1月3日は除きます)

■ 個人投資家向け会社説明会

県内の個人投資家の皆さまに当行の業績や営業状況をより理解していただくことを目的に、証券会社の協力を得て「会社説明会」を開催しております。

■ 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	第109期 (平成26年9月30日現在)	第110期 (平成27年9月30日現在)	第111期 (平成28年9月30日現在)
資産の部	4,310,553	4,507,334	4,618,994
うち貸出金	2,878,082	3,014,854	3,169,633
うち有価証券	1,025,336	996,936	1,022,171
資産の部合計	4,310,553	4,507,334	4,618,994
負債の部	4,053,004	4,238,690	4,336,523
うち預金	3,918,036	4,095,738	4,238,820
純資産の部	257,548	268,644	282,471
うち株主資本合計	217,584	220,817	230,922
負債及び純資産の部合計	4,310,553	4,507,334	4,618,994

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 中間損益計算書

(単位：百万円)

	第109期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	第110期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	第111期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
経常収益	36,372	35,021	34,037
うち資金運用収益	28,355	27,313	25,737
うち役員取引等収益	4,964	5,217	4,920
経常費用	23,227	23,342	23,863
経常利益	13,145	11,678	10,174
特別損益	△127	△11	△426
法人税等合計	4,461	3,716	3,048
中間純利益	8,556	7,950	6,699

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(第111期 注記)

- 1株当たり純資産額 1,070円27銭
- 1株当たり中間純利益 25円34銭
- 平成28年9月末における単体と連結の総資産の差額は33億円と連結総資産4兆6,223億円の0.1%未満と軽微なため、単体のみ表示しています。

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

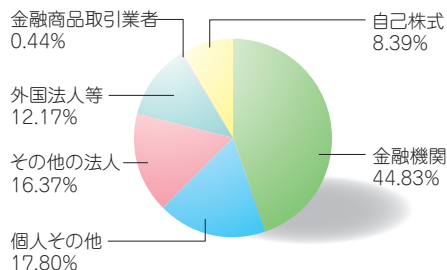
株式数
 発行可能株式総数…………… 790,029千株
 発行済株式の総数…………… 287,855千株
 (注) 株式数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 株主数…………… 14,825名

大株主 (平成28年9月30日現在)

氏名または名称	持株数等 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	15,507	5.88
株式会社千葉銀行	12,213	4.63
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	11,357	4.30
三井住友海上火災保険株式会社	10,018	3.79
株式会社三菱東京UFJ銀行	9,281	3.51
京葉銀行職員持株会	7,184	2.72
住友生命保険相互会社	7,122	2.70
明治安田生命保険相互会社	5,939	2.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	5,234	1.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	5,180	1.96

(注) 1. 上記のほか、当行所有の自己株式24,157,316株があります。
 2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 3. 持株比率は自己株式(24,157,316株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

株式の分布状況 (平成28年9月30日現在)



平成28年5月に、自己株式を3,000千株(取得価格12億69百万円)取得するとともに、3,000千株消却しました。

株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告により当行ホームページに掲載します。 (ホームページアドレス http://www.keiyobank.co.jp) ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎0120-707-843 特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでもお受けしています。 ホームページアドレス http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)
(郵送物送付先) お問い合わせ先)	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎0120-707-843 特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでもお受けしています。 ホームページアドレス http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)

役員の状況 (平成28年9月30日現在)

取締役		
取締役会長 (代表取締役)	取締役頭取 (代表取締役)	専務取締役 専務執行役員 (代表取締役)
小島 信夫	熊谷 俊行	橋本 清
常務取締役 常務執行役員	常務取締役 常務執行役員	取締役 常務執行役員
丸 次男	大島 浩司	君塚 一郎
社外取締役	社外取締役	社外取締役
齋藤 康	秋山 勝貞	内村 廣志

監査役

常勤監査役	常勤監査役	
小澤 進	深山 正嗣	
社外監査役	社外監査役	社外監査役
大塚 弘	小野 功	重田 雅行



県内のバリアフリー施設を千葉県が紹介する「ちばバリアフリーマップ」に当行の店舗が掲載されています。

千葉県健康福祉部「ちばバリアフリーマップ」 <http://www.pref.chiba.lg.jp/pbbfmap/>